

令和4年度 東北農業試験研究推進会議 野菜花き推進部会
野菜研究会（夏期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 野菜花き推進部会長
農研機構東北農業研究センター
畑作園芸研究領域長 佐々木英和

1. 趣 旨

水田を有効活用して高収益化を図り、安定した経営体を育成するために、収益性の高い土地利用型野菜の生産振興が進められている。また、国産の加工・業務用野菜の需要は高まっている。一方、生産現場では担い手及び労力不足が課題となっており、解消する手段として、スマート農業を含めた機械化体系の開発・導入等は進んできているが、解決すべき課題はまだ残されている。

そこで本研究会では、担い手不足を解決するための機械化体系による大規模園芸経営について、現状とその技術的課題について議論し、今後開発すべき技術等を検討する。

2. 開催日時 令和4年8月30日（火）13：00～8月31日（水）12：00

3. 開催場所

(1) 現地検討会：

1) (株) I love ファーム（福島県南相馬市小高区飯崎南原75-1）

2) (株) 福島しろはとファーム（福島県楡葉町前原浜域1）

(2) 研究会：テクノアカデミー浜（福島県南相馬市原町区萱浜巢掛場45-112）

4. 現地検討・検討内容

(1) 現地検討会 8月30日（火）13：00～17：30

1) (株) I love ファーム（福島県南相馬市小高区飯崎南原75-1）

2) (株) 福島しろはとファーム（福島県楡葉町前原浜域1）

(2) 研究会 8月31日（水）9：00～12：00

検討課題：担い手不足を解決するための機械化体系による大規模園芸経営について
話題提供

1) 「福島県南相馬市における水稻・大豆にタマネギを加えた大規模経営について（仮）」

株式会社飯崎生産組合 水谷 隆 氏

2) 「福島さくら農業協同組合管内の土地利用型野菜の産地形成の取組み（仮）」

福島さくら農業協同組合（調整中）

各県の取り組み状況と今後の方向

総合討議

「技術的課題（現場ニーズ）」の検討

5. 参集範囲

農研機構および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、大学、その他推進部会長が必要と認める者

6. 新型コロナ感染防止対策

新型コロナ感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、メール会議等に開催方法を変更する場合があります。

- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場やバスの出入口に消毒液を用意しますので、手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることご承知おきください。

7. 連絡先

資料作成と参加申し込みについては別途連絡致します。

農研機構東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 塚崎 光
〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4
TEL:019-643-3513 e-mail: tsuka@affrc.go.jp